

平成 15 年度第 7 回常務理事会（通信会議）議事録

期 間：平成 15 年 12 月 12 日（金）～12 月 26 日（金）

参加者：

会 長：野澤 志朗

副会長：藤井 信吾、田中 憲一

理 事：植木 實、落合 和徳、岡村 州博、佐藤 章、武谷 雄二、星 和彦、
村田 雄二、和気 徳夫

監 事：荒木 勤、中野仁雄、藤本征一郎

幹事長：吉田 幸洋

幹 事：植田 政嗣、小林 浩、古山 将康、清水 幸子、高桑 好一、阪埜 浩司、
平川 俊夫、平田 修司、藤森 敬也

総会議長：清川 尚

総会副議長：足高 善彦、松岡幸一郎

〔資料〕

第 7 回常務理事会業務担当常務理事報告並びに関連協議事項予定内容

1：第 6 回常務理事会議事録（案）-12 月 11 日付で送付済み

庶務 1：厚生労働省からの母子健康手帳の様式の改正の通知

庶務 2：各部署・委員会で取り組むべき規則・内規等の改定一覧

専門医制度 1：日本専門医認定制機構からの専門医制度評価基準チェックリスト集計結果

広報 1：12 月 6 日の定例記者会見のメディアファクス記事

その他 1：平成 16 年度日本産科婦人科学会予定表（案）

野澤会長から 12 月 11 日付各役員、議長団、幹事長、幹事宛書面にて、平成 15 年度第 7 回常務理事会を 12 月 12 日から 12 月 26 日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第（報告事項、協議事項）及び関連資料が送付された。

予定通り 12 月 12 日に通信会議が開始され、会長、両副会長、常務理事の総数 11 名全員が参加した。野澤会長が議長となり議事録署名人として、会長及び庶務、会計の担当常務理事が選任された。

． 第 6 回常務理事会議事録の確認
修正なく承認した。

． 業務担当常務理事報告並びに関連協議事項

1) 庶 務（落合和徳理事）

〔 ． 本会関係〕

(1) 会員の動向
とくになし

(2) 各部署・委員会で取り組むべき規則・内規の改定について

幹事団で各部署・委員会で取り組むべき規則・内規の改定につき[資料：庶務 2]としてまとめたが、協議の結果、追加、修正はなく、これを承認した。

〔 ． 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長より平成 15 年 12 月 8 日付母子保健手帳の様式の改正の通知を受領した（12 月 9 日）。

本通知につき会員への周知徹底を依頼されたが、本会ホームページ、機関誌に掲載することにつき承認した。[資料：庶務 1]

〔 ． 関連団体〕

(1) 日本産婦人科医会

1 月 20 日に平成 15 年度第 4 回（通算 16 回）学会・医会ワーキンググループを開催する予定である。

(2) 日本医学会

平成 16 年 2 月 24 日に第 71 回日本医学会定例評議員会が開催される予定である。

当日は次期日本医学会長及び副会長の選挙が行われるが、本会に次期会長、副会長を 1 月 30 日までに推薦するよう依頼があった。第 8 回常務理事会（1 月 16 日開催予定）で協議する。

関連団体（1）（2）の報告につきこれを了承した。

〔 ． その他〕

とくになし

2) 会 計 (岡村州博理事)

(1) 各部署・委員会からの平成 15 ・ 16 年度事業・予算に関わる申請結果につき、1 月上旬に会計理事、会長、副会長、監事、幹事長からなる予算査定会議を開催する予定である。

この報告を了承した。

3) 学 術 (和氣徳夫理事)

(1) 学会会場固定化準備委員会からの提言

平成 16 年 1 月、常務理事会に提出し審議・承認を受けた後、第 4 回理事会に提出・審議したい。

(2) 学術集会長と学術企画委員会の業務分担に関する答申

平成 16 年 1 月、常務理事会に提出し審議・承認を受けた後、第 4 回理事会に提出・審議したい。第 56 回総会で業務分担の変更を報告する予定である。

(3) 学術企画委員会運営要綱の改訂について

平成 16 年 1 月、常務理事会に提出し審議・承認を受けた後、第 4 回理事会に提出・審議したい。第 56 回総会で改訂につき報告する予定である。

学術企画委員会に関わる(1) (2) (3)の方針を承認した。

4) 編 集 (星 和彦理事)

とくになし

5) 渉 外 (村田雄二理事)

とくになし

6) 社 保 (植木 實理事)

(1) 治験薬推薦について 3 専門委員会委員長に依頼した(今回は抗癌剤が中心)。

(2) 本会がプレマリンの要望書を提出したことに関し、ワイスレダリーから感謝の書面が寄せられた。

社保に関わる(1) (2)の報告を了承した。

7) 専門医制度 (武谷雄二理事)

中央法人日本専門医認定機構より専門医制度評価基準チェックリスト集計結果を受領した(12月4日)。[資料：専門医制度 1]

この報告を了承した。

8) 倫理委員会 (田中憲一委員長)

とくになし

理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 定款改定委員会 (落合和徳委員長)

とくになし

2) 学会のあり方検討委員会 (藤井信吾委員長)

1月18日に第6回委員会を開催する予定である。

この報告を了承した。

3) 広報委員会 (佐藤 章委員長)

(1) 12月6日の定例記者会見について[資料：広報1]

(2) NHK「ニュース 10」からの AID の現状と今後について本会への取材依頼があり、吉村泰典倫理委員会委員に対応を依頼した。12月15日放映予定である。

広報委員会の(1)(2)の報告を了承した。

4) 2007 第 20 回 AOCOG 準備委員会 (武谷雄二委員長)

とくになし

・ その他

(1) 平成 16 年度日本産科婦人科学会学会予定表(案)について

落合常務理事 より「できれば第 1、第 3 金曜日の会議設定について変更をお願いできないか」との要望が出された。

当該要望等を踏まえ、今後の常務理事会、第 4 回理事会で日程につき協議することとした。

(2) 各部署・委員会において規程・内規のほかに、第 4 回理事会、第 56 回総会までに審議しておくべき積み残し課題について

本件につき下記の意見が寄せられた。

落合常務理事 「専門委員会に関する来年度の日程」

荒木監事 「今後、会告の見直し点を明確にする必要がある」

小林幹事 「11 月の常務理事会では機関誌編集に関して予算の枠内であればレビュー等の改革もよろしい、とのことであったが、第 3 回理事会ではその方向性が否決された。今月中に詳細な予算案を作成し、再検討する。また、JOGR の electric membership の予算計上についても検討したい」

阪埜幹事 「根津元会員の再入会について。本会の禁煙宣言について。新専門医承認式の式次第。副会長選挙について」

以上の意見については、今後の常務理事会、理事会で取り上げていくこととした。

以上